

CAMPUS NOW

早稲田大学広報

No. 256
2025/07

特集

Finding My Future



巻頭インタビュー
早稲田大学競走部駅伝監督
花田勝彦

KATSUHIKO HANADA



花田勝彦さん

力を出せる方角へ、走りつづけたキャリア

“箱根で、3強に食い入る”。一つの目標を掲げ、2025年1月の箱根駅伝に臨んだ早稲田大学競走部。往路を3位で走り終えるも、國學院大学との争いに10秒の僅差で敗れ、総合4位の結果となった。2022年よりチームを指揮する花田勝彦監督は、走者たちの着実な成長を振り返る。

「青山学院、駒澤、國學院の3強と十分に戦える、確かな手応えをつかんだ一戦でした。そして今年度は私が着任して4年目。部員全てが指導した選手へと入れ替わります。駅伝で優勝争いに加われるとともに、ユニバーシアードや世界陸上でも活躍できる選手を育て上げるつもりです」

花田監督自身、早稲田大学競走部のOBでもある。総合優勝を果たした1993年の箱根駅伝では、“早大三羽ガラス”の一翼を担い、区間記録を更新。華々しい活躍のきっかけとなったのは、当時のコーチ・瀬古利彦氏の誘いだった。

「高校3年生の時、選手の勧誘で全国を回る瀬古さんに出会いました。経済的な事情で私立大学への進学は断念していましたが、瀬古さんが自宅まで説得に訪れ、家族で決意を固めたんです。在学中は厳しい指導のもと、四六時中競走に打ち込む日々。卒業後は大学院に進んで指導者になるのが夢だったのですが、瀬古さんが監督を務めるエスピー食品に入りました」

実業団時代は2度のオリンピック出場を

果たした花田監督だが、怪我の影響もあり、アテネ大会を目前にした2004年に現役を引退。次に選んだ道が、指導者だった。

「ある大学生から、『指導者になってほしい』というメールが届いたんです。送り主は、上武大学の駅伝部。私の引退と同年に創設されたため、箱根駅伝の出場経験などありません。新たな地平に魅力を感じた私は、指導者になることを決めました」

選手とともに全くのゼロからスタートした花田監督。徐々にチームの力を底上げし、5年目にして箱根駅伝への初出場に導いた。

「目指したのは、学生が『上武大学駅伝部出身』と胸を張って社会に出ること。競技だけでなく学問や地域貢献にも取り組むうちに、地域の方々の応援が増してきました。技能とともに磨いた人間性が結果につながったのだと感じます」

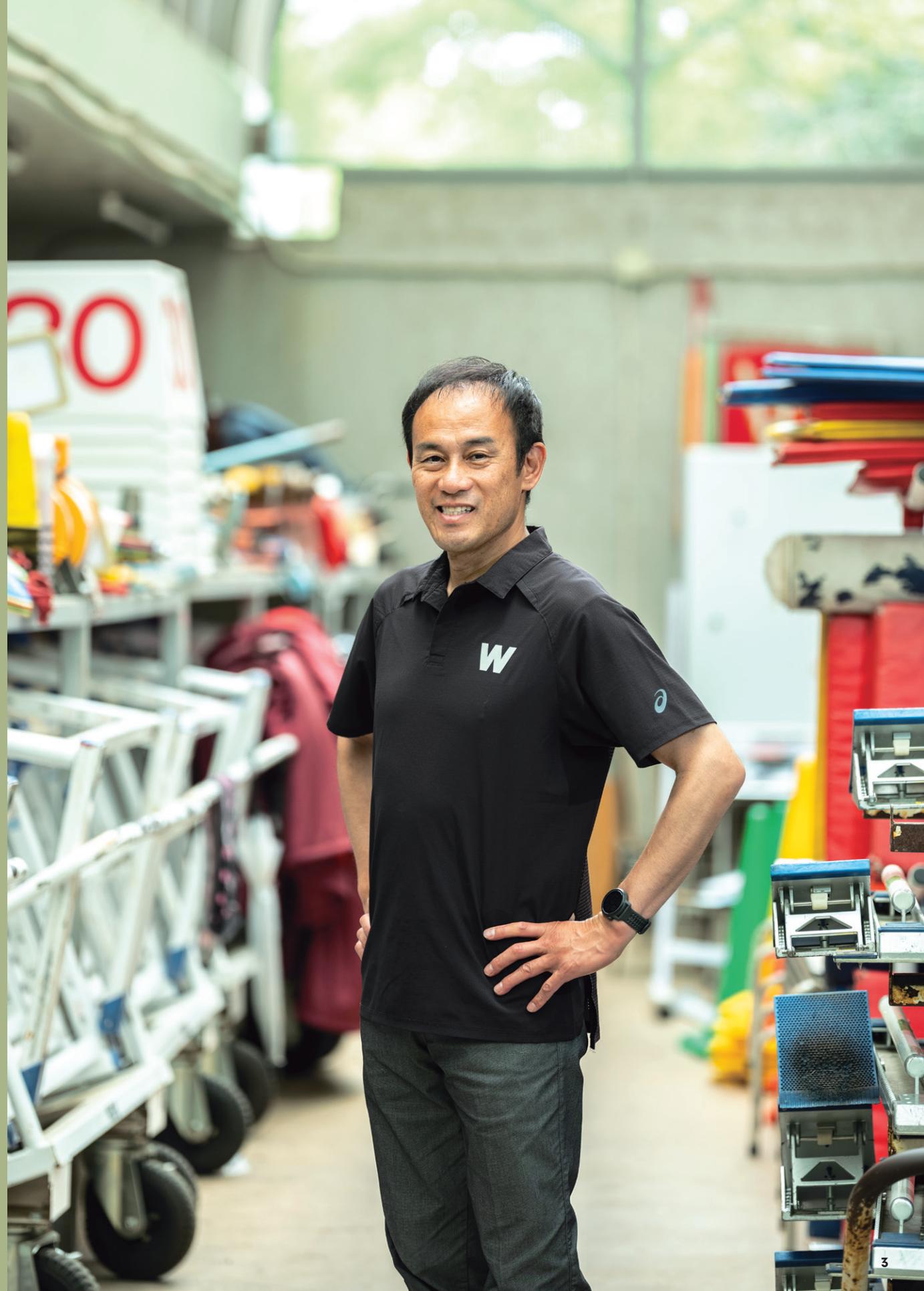
その後はGMOインターネットグループの監督を経て、早稲田大学へと戻った花田監督。培った指導経験は今日、母校のために注がれている。

「今いるチームのためにできることを自問し、キャリアを重ねてきました。現役の学生にも、ただ安定や収入を求めるのではなく、自分の力で何かを変えられる環境に身を置いてほしいと伝えています。学生は遠い未来のことを悩みがちですが、まずは4年間全力で何かに打ち込んでほしい。すると必ず、次の視界が開けてくるはずですよ」



PROFILE

1971年京都府生まれ。1994年早稲田大学人間科学部卒業。在学中は競走部に所属し、1993年に箱根駅伝4区区間賞を獲得。卒業後はエスピー食品株式会社に所属し、1996年のアトランタオリンピック(10000m)、1997年のアテネ世界陸上マラソン、2000年のシドニーオリンピック(5000m・10000m)に出場。2004年に引退後、上武大学准教授および駅伝部監督、GMOインターネットグループ・アスリーツ監督を経て、2022年より早稲田大学競走部駅伝監督を務める。



Finding My Future^W



大学生活において重要になるのが、

卒業後の人生を設計するキャリアデザインです。

学業や課外活動などを通じて発見した、

自分の価値観や興味、特性は、

将来像を描く際の、かけがえのない指針になります。

本特集に登場するのは、社会のさまざまな領域で活躍する卒業生。

彼らの学生生活や進路選択から、

キャリアデザインのあり方を探っていきます。

キャリアデザインのイメージ

キャリアをデザインする際に軸となるのが、授業や研究に加え、サークル、ボランティアなどの課外活動です。これらの経験で形づくられた価値観や特性を言語化することで、将来像や進路を明確にすることができます。

Experience

経験する

- ・失敗を恐れずやってみる
- ・新しいことにチャレンジする
- ・継続してきたことを追求する

Know Your Unique Interests and Values

自分の価値観・興味や特性を知る

- ・大学入学の目的や理想の学生生活を定期的に振り返る
- ・熱中していることや興味・関心があることを振り返る
- ・これまでの経験で得られた能力や価値観を考える

Create a Plan and Act on It

具体的アクションプランを作り行動する

- ・知識や経験を増やすための授業やプログラム、サークル・部活動を探す
- ・優先順位や期限を決める

Design Your Future

将来ありたい姿や目標を描く

- ・ロールモデルとなる人の生き方や考え方を参考にする
- ・5年後、10年後を考えてみる
- ・社会で働く目的を考える

早稲田大学で描く、多彩なキャリアデザイン

早稲田大学では、学生たちの主体的・自律的なキャリアを支援しています。学生部長を務める商学学術院の矢内義顯教授が、キャリアデザインのあり方と大学の役割について説明します。

複雑な現代社会における 学生たちの自己実現

今日、学生たちが卒業後に踏み出す社会は、大きく変化しています。AIを筆頭とするテクノロジーの進化、環境問題や地政学的リスクの顕在化が加速し、日本では少子高齢化が進行。また、職場や教育現場など社会

の中にダイバーシティが浸透し、大学においても、合理的配慮の提供をはじめ多様性の尊重への取り組みが推進され、学生は人種や国籍、ジェンダー、セクシュアリティ、障がいの有無などにかかわらず、多様な人々と関係性を育むようになっていきます。

こうした中で、キャリアのあり方も多様化しています。起業や社会貢献活動、海外支援活動など、従来の

な意味での“就職”にとどまらない選択肢が、広がりをみせるようになりました。一方で、多くの大学生は一般企業への就職を前提に将来を設計しているのも事実です。しかし長い人生を歩む上では、就職先は一つの要素に過ぎません。自己実現のためには、視野を広げ、主体的・自律的にキャリアをデザインすることが重要になります。

学生生活の充実が キャリアデザインの土台になる

主体的・自律的なキャリアデザインの土台となるのが、充実した学生生活です。授業や研究とともに、課外活動にも目を向けていただきたいと思います。早稲田大学には約500の公認サークルがあり、学生生活を通じて打ち込む活動を見つけ出すことが可能です。またボランティアや企業・地域連携、起業家養成や留学など、大学が設置する多彩なプログラムに参加することで、新たな環境で自分を成長させることもできます。図書館や文化・スポーツ施設など、充実したキャンパスの機能を活用し、心身を養うことも有意義でしょう。多様な世界と関わりながら、日常生活の中で刺激や発見を得ていくことは、一見すると当たり前のことかもしれませんが、しかし自分の価値観を掘り下げる上では非常に大切です。特に1~2年生は、次々と新たなことにチャレンジしていただきたいと思います。

充実した学生生活を送りながら高学年に進むと、徐々に将来像も明確になるでしょう。進路選択の際に活用できるのが、キャリアセンターが提供する支援です。対象学年別、業界・職種別の講座やワークショップを多数開催しており、自身のビジョンに合わせて自由に参加することができます(p16参照)。また個別相談を受け付けるキャリアセンターの窓口では主に、学生が将来像を描くキャリア形成についてのアドバイスや、学生生活を振り返り、学びや強みについて言語化

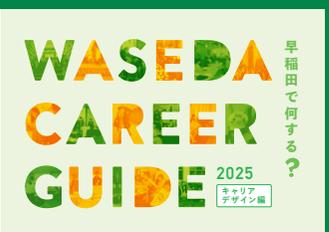
することの支援を行っています。

こうした学生生活を経て社会に羽ばたいた卒業生は、多彩な領域で活躍しています。約69万人に及ぶ卒業生のネットワークは、本学の強みでもあります。第一線の声を学生のキャリアデザインに役立てられるよう、大学は卒業生との連携強化にも努めています。

自主独立の精神に基づき 主体的な進路選択を支援する

キャリアセンターが最優先とするのは、学生の自律的・主体的な判断と行動であり、個々が納得のいく進路を選択することを、何よりも重視しています。現代の大学生は基本的に成人です。社会的にもますます自律的な姿勢が求められるようになるでしょう。ひと昔前の「就職課」としてイメージされる、一方通行的なキャリア支援は、形を変えつつあるのかもしれませんが、「University(大学)」の語源を辿ると、「一つへ“向かう”」という意味に行き着きます。大学はもともと多様性を包摂する共同体です。「学問の独立」を教旨で掲げる早稲田大学は、自主独立の精神を重んじた教育・研究を強調してきました。学生のキャリアデザインにおいても、個々の多様な選択を尊重していきたいと考えています。

早稲田大学学生部長
矢内義顯
(商学学術院教授)



WASEDA CAREER GUIDE 2025 早稲田で何をする？ キャリアデザイン編

キャリア設計や支援内容の詳細は、こちらで紹介しています。



海外で見つけたやりがいを、社会の中で突き詰める



ハワイでのボランティア活動で知った文化の魅力を伝える喜び

出版社で、子どもや入門者に向けた書籍を制作しています。編集の仕事をしたのは、大学時代のボランティア活動がきっかけでした。

早稲田大学の文学部で美術史を学んでいた私は、当時は学芸員などを目指し、大学院進学を志望。しかし論文作成などの学術的なアプローチが上手いかず、徐々に進路を悩むようになりました。そうした中で、

視点を変えてくれたのが、平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)が提供する公認プログラムです。アメリカ・ハワイ島の学校で、現地の子どもたちに日本語教育支援を行うボランティア活動で、私は年に2回参加していました。英語で日本文化を伝えるためには、教材を工夫しなければなりません。そこで、自分が得意とする美術作品を教材に使用したところ、子どもたちが目を輝かせて楽しんでくれました。活動の中で、芸術や文化の魅力を人に伝えることにやりがいを感じ、メディア業界を中心に就職活動を始めました。

卒業後は教育サービスの企業で営業職を経験した後、より制作に近い仕事がしたいと退職。青年海外協力隊として、フィジーで教材を作る活動に従事しました。

2年間の活動を経て、「日本の子どもたちにも学びを届けたい」と入社したのが、現在の会社です。文化の異なる子どもたちの視点に立ち、教育活動に挑戦してきた経験は、物事を分かりやすく伝える力として役立っています。興味の赴くままにチャレンジし、目の前のことから懸命に学ぶ姿勢が、やりがいのあるキャリアを進む上で大切なのだと思います。

海外ボランティアで、子どもたちに学びを提供

澤田さんのキャリアデザイン
(在学時～最初のキャリア)

物事を分かりやすく伝える編集者の道へ

芸術や文化の魅力を、知らない人に伝えたい



株式会社Gakken
澤田未来さん
2015年文学部卒業

出版社で
書籍を編集しています



研究で培った専門知を、ビジネスの領域に役立てたい

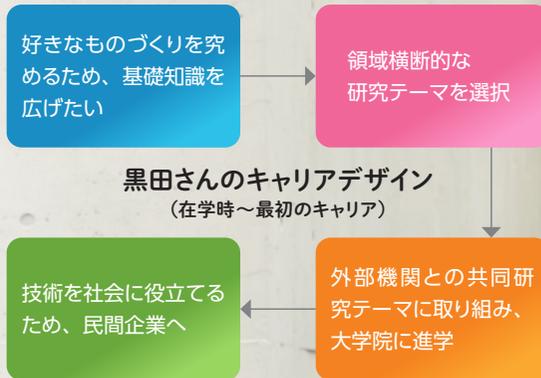
大学院は博士課程まで進み 学術的視野を広げていった

外資系のコンサルティングファームであるボストンコンサルティンググループ(BCG)で、主に製造業の顧客企業への技術開発や中期経営計画の策定などの支援をしています。BCGは社会課題の解決にも積極的に取り組むグローバルファームで、幅広い産業・テーマに携わる中で、社会と技術の接点に価値を生み出せる点に魅力を感じています。

幼い頃からものづくりが好きで、科学の幅広い知識を身につけたいと先進理工学部に進学。得意な化学や生物に加えて、物理もより深く勉強したく、電気・情報生命工学科を選択しました。3年生からは電気や情報を生物領域に応用する研究室に所属し、外部機関である産業技術総合研究所と共同でバイオセンサーの開発に取り組み、さらに研究を深めようと大学院へ。修士課程の修了後は就職も考えましたが、学術的な視野を広げたいと博士課程に進みました。

研究と並行して就職活動をし、博士課程修了後はガラスメーカーに入社。大学で電気や情報、生命工学を学んだことから、化学領域にもアプローチしたいという思いがキャリア選択の軸でした。企業の研究者として働く中で、技術をビジネスに結びつけることの難しさを感じ、そのプロセスを手助けすることで、ビジネスにおいてさらに価値が出せる仕組みを作りたいと思ったのが、BCGに転職したきっかけです。基礎的な専門知識があることで、顧客企業や市場への理解が深まっていると実感しています。

高校から今に至るまで、進路選択で意識してきたのは学びを広げることでした。好奇心の赴くままに知識を深めてきたことは、現在の仕事の糧になっています。また、理系出身ならではの、問いに仮説を立て検証し物事を考えていく力はキャリアを歩む中でも役立っています。



企業の戦略案件を担当しています
コンサルティングファームで



ボストン コンサルティング
グループ
黒田千愛さん
2018年大学院先進理工学研究科
博士後期課程修了

学生時代の夢を抱きながら、新たなフィールドで起業に挑戦

社会の中で自分を見つめ ビジネススクールで学び直し

早稲田大学の学部時代は教職課程を履修しながら、クリケットに打ち込んでいました。教員に憧れていましたが、3年生でオーストラリアへスポーツ留学し、より広く社会を見た方がいいと実感。まずは企業で働こうと、文系でもモノづくりに深く関われる素材メーカーに就職しました。営業としてプラスチックフィルム材料の事業戦略やマーケティングを担当し、国内外の多様な関係者と接する中で、人々を巻き込みながら

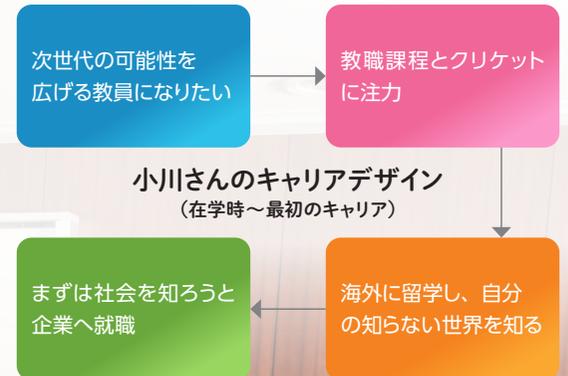
事業をリードする力を身につけられたと思います。

転職は研究者である妻との結婚です。充実した日々を送る一方、自分の専門性に疑問を持ち、キャリアと向き合うことに。社会人5年目で早稲田大学大学院経営管理研究科(早稲田大学ビジネススクール)の夜間主総合プログラム^{*}に通い、働きながら経営学を学び直しました。修了後は、ビジネスの力で社会課題を解決したいと考え、コンサルティング企業に転職しマネージャーとして仕事に打ち込みましたが、妻の渡米を機に退職。帯同者としてアメリカに移住し、ONEDERS LLCを起業しました。同社では日系法人や個人にコン

サルティングやコーチングを提供しており、これまで培った知見が役立っています。また教員の夢も叶えようと、現地の日本語補習授業校で教員も始めました。

新卒の頃に思い描いたのは、ビジネスの世界で上を目指すこと。その価値観は渡米により一度途絶え、社会の中での存在意義に悩んだ時期もありましたが、家族と一緒に暮らすことを最優先に選んだのが、現在の生き方です。ゼロからの再始動を決意できたのも、留学やビジネススクールで多様な価値観を知り、どこでも働ける力を身につけてきたからこそであり、これまでの出会いや機会に感謝しています。

*プログラム改編のため2026年度よりプログラム名が変更となります。



自
ら
事
業
を
起
ち
上
げ
ま
し
た

ア
メ
リ
カ
に
移
住
し
、



ONEDERS LLC
小川一幸さん
2021年大学院経営管理研究科修了

人生を歩む強みを得たいと、 学生時代に資格試験に挑戦

授業や課外活動がきっかけになり 公認会計士の資格取得を目指す

公認会計士協会準会員として監査法人に勤務して3年目。複数の企業を顧客に、会計や情報開示など、さまざまな業務を支援しています。

初めて会計に関心を抱いたのは、1年生の時に受講した授業でした。難解なイメージはありつつも、数字の背景にある事象に面白さを感じたのがきっかけです。また、学生時代に関わった高校生向け教育プログラムが、参加費をいただかないものだったため、希望する全員に届けることができなかつたことから、お金の流れに携わる仕事に関心をもつようになりました。

こうした経験とともに、「将来に備えて資格を取得したい」とも考えていました。出産や育児を考えた時、復職や転職の強みになるためです。専門知識があれば、新たなことにチャレンジする際にも、保険のような役割を果たしてくれるのではないかと思います、公認会計士試験の勉強を始めました。勉強中は就職活動をしませんでしたが、やるべきことを着実に進めれば結果が出ると信じ、週50時間ほどを勉強に費やしました。

学生時代はほかにも、「模擬国連早稲田研究会」というサークルに所属したり、ベンチャー企業でのインターンに参加したりしました。専門知識だけでなく、自分とは異なる考えに触れることで、物事に対する多角的な見方を身につけたことは、現在多様な顧客と接する上で活かされています。

出産や育児、キャリア
チェンジに備え、強み
を持ちたい

会計に関心を抱き、
公認会計士を目指す

佐伯さんのキャリアデザイン
(在学時～最初のキャリア)

企業でのインターンを経
て、監査法人に就職

勉強に専念し、
公認会計士試験に合格

EY新日本有限責任監査法人

佐伯美月さん
2023年政治経済学部卒業
(早稲田実業学校高等部出身)

監査法人に所属し

企業の業務支援に携わっています

進むべき道を模索しながら、 少しずつ視野を広げたい

地域連携ワークショップに参加し 就職後は地元で配属

地元・広島での高校時代は演劇活動をしていたことから、大学は文学部に進学しました。入学後も地元で演劇活動を継続しながら、教職課程を履修したり、地方自治体の課題にアプローチする「地域連携ワークショップ」、企業課題に対して提案を行う「プロフェSSIONALS・ワークショップ*」に参加したりと、少しずつ経験を重ねていきました。二つのワークショップは、自分の独りよがりではなく、相手の意向をヒアリングし、最適な提案を目指します。授業とは異なり、実社会の現実的な問題に立ち向かう、貴重な経験だったと感じます。

上京による生活の変化、さまざまな人との出会いを経て実感したのは、世の中に対する視野を広げるべきだということです。ビジネスを通じて社会経験を積みたいと、民間企業への就職を選択。多くの業界と関わられることを重視して不動産業界に志望を絞り、住宅メーカーに就職しました。

入社後は広島の配属になり、主に法人向けの事業所建設を担当しています。社会人3年目で未熟な部分もありますが、地域の事業者の皆さんと仕事をする中で、見える景色も変わってきました。広島にもさまざまな地域課題があり、私の力でも変えられることがあるかもしれません。今後も仕事にやりがいを求めながら、一步一步成長していきたいです。

※現名称:企業連携ワークショップ

大学が提供する課外
活動プログラムに参加

さまざまな経験の中で、
もっと視野を広げたい
と思う

廣本さんのキャリアデザイン
(在学時～最初のキャリア)

就職後は地元で配属
され、地域の人々と向
き合う日々

多くの人々と関わるた
め、不動産業界を中
心に就職活動

住宅メーカーの営業担当として

地元・広島で働いています

大和ハウス工業株式会社
廣本雄大さん
2023年文学部卒業

キャリアセンターの支援プログラム

早稲田大学キャリアセンターでは、進路選択や就職活動に役立つさまざまな支援プログラムを提供しています。



個別相談ブースが揃うC Space。各種イベントも行われる



約200社の企業がキャンパスに集まる「夏のインターンシップフェア」

まずは気軽に相談する 全学生向け

キャリアセンターでは、全ての学生のキャリアに対する相談を受け付けています。早稲田キャンパスに設置されるキャリアセンター分室「C Space」では、ブースでの個別相談が可能です。課外活動や就職活動のみならず、「今何をすべきか」「自分にはどのような進路が向いているか」など、漠然とした質問にも対応しています。

学生生活を充実させる 学部1・2年生向け

充実した学生生活のヒントとなる「キャリアスタートガイド」では、社会人として活躍する卒業生が、仕事の内容や学生生活の過ごし方について話すパネルトークや、大学の公認学生団体に所属する先輩学生が課外活動の魅力を語る座談会などを開催しています。また、学生自身が先輩学生へ取材、記事執筆をする「Student Career Volunteer」では、さまざまな業界の情報を発信。学生ボランティアとして活動に参加することも可能です。



キャリアスタートガイダンスの様子

将来の進路を明確化する 学部3年生向け

就職活動に取りかかり始める3年生に向けては、納得のいくキャリア選択に向けた準備をしていくための「就活準備講座」などを開催しています。また、卒業生訪問やインターンシップなどの活動もサポートしています。

本格的に就職活動をする 学部4年生向け

本格的に就職活動を行う4年生に対しては、面接対策や動画選考対策などの「就活実践講座」、採用活動を行う企業と学生をつなぐ「採用マッチング会」などを提供しています。

特性に合わせた進路を見つける 対象者別支援

外国人留学生が日本での就職活動を円滑に進められるよう、留学生に特化した各種ガイダンス・セミナーを開催しています。また、障がいや体調に不安のある学生に対しては、学内外の関係機関と連携したキャリアデザイン、就職活動の支援を行っています。

民間企業就職以外の道を進む 進路別支援

公務員を目指す学生に向けては、試験対策講座やキャリア形成イベントの実施、情報提供を行っています。そのほか、資格取得、起業、大学院進学など、それぞれの進路に対しても、各専門箇所と連携した支援を行っています。

就職活動や進路データなど、保護者等の皆さまに向けたキャリアデザイン関連の情報発信を行っています。右記QRコードからご覧ください。また、1都3県以外にお住まいの皆さまを対象にした「地域交流フォーラム」については、p23もあわせてご覧ください。



卒業生の進路状況

2024年度の進路状況

2024年度学部卒業・修士修了者は約11,600名で、その進路は就職が7割、進学が2割、その他1割となっています。学部卒業生の就職率は96.0%でした(文部科学省の基準を参考に算出)。就職先は多方面にわたり、約2,500の企業・団体へ就職しています。社会のあらゆる分野に広くネットワークがあることが早稲田大学の特徴です。

項目	学部	大学院	計
進路報告者	8,382	2,841	11,223
就職者	5,932	2,065	7,997
進学者	1,773	280	2,053
資格試験準備等	189	122	311
その他	488	374	862

新規就職者の主な就職先

内定先名称	合計	内定先名称	合計	内定先名称	合計
(株)ベイカレント	103	みずほ証券(株)	38	エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)	25
(株)三菱UFJ銀行	88	日本生命保険相互会社	38	EY新日本有限責任監査法人	25
アクセンチュア(株)	88	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー(同)	37	三菱商事(株)	24
(株)NTTデータ ^{#1}	83	SMBC日興証券(株)	36	東日本電信電話(株)	24
(株)NTTドコモ	80	全日本空輸(株)	36	(株)キーエンス	23
東京都職員1類	79	大和証券(株)	35	三菱電機(株)	23
富士通(株)	69	PwCコンサルティング(同)	35	本田技研工業(株)	23
(株)野村総合研究所	68	トヨタ自動車(株)	34	丸紅(株)	23
日本電気(株)	66	ソフトバンク(株)	34	日産自動車(株)	22
(株)三井住友銀行	64	明治安田生命保険相互会社	32	双日(株)	22
日本アイ・ピー・エム(株)	60	日本放送協会	31	ファーストリテイリンググループ	22
アビームコンサルティング(株)	54	三井住友海上火災保険(株)	30	第一生命保険(株)	22
三菱UFJ信託銀行(株)	53	(株)日本総合研究所	30	清水建設(株)	21
国家公務員一般職	52	りそなグループ	29	(株)サイバーエージェント	21
EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)	46	三菱重工業(株)	28	有限責任あずさ監査法人	21
楽天グループ(株)	46	野村證券(株)	28	大日本印刷(株)	20
(株)日立製作所	44	(株)NTTデータグループ ^{#1}	28	三井物産(株)	20
国家公務員総合職	44	東日本旅客鉄道(株)	27	(株)ニトリ	20
レバレッジズ(株)	43	日本航空(株)	27	(株)JTB	20
三井住友信託銀行(株)	41	東京都教員	27	SCSK(株)	20
東京海上日動火災保険(株)	39	(株)電通	26	みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) ^{#1}	20
(株)みずほ銀行 ^{#1}	38	伊藤忠商事(株)	25	有限責任監査法人トーマツ	20

*2024年度就職者数(学部卒業生・修士修了者合計)。就職者数20名以上の企業・団体等を抽出。*1:グループ採用実施企業については、本人申告に基づき集計。

文系学生の主な就職先

(株)ベイカレント 95、東京都職員1類 75、(株)三菱UFJ銀行 73、(株)NTTデータ 65、(株)NTTドコモ 62、アクセンチュア(株) 57、(株)三井住友銀行 52、三菱UFJ信託銀行(株) 49、国家公務員一般職 45、アビームコンサルティング(株) 45、レバレッジズ(株) 41、日本アイ・ピー・エム(株) 41、日本電気(株) 41、富士通(株) 38、楽天グループ(株) 38、日本生命保険相互会社 36、東京海上日動火災保険(株) 35、三井住友信託銀行(株) 33、みずほ証券(株) 33、EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株) 33、(株)みずほ銀行 31、大和証券(株) 31、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー(同) 31、SMBC日興証券(株) 29、国家公務員総合職 28、(株)野村総合研究所 28、明治安田生命保険相互会社 28、三井住友海上火災保険(株) 25、ソフトバンク(株) 25、りそなグループ 25、日本放送協会 24、(株)日本総合研究所 22、野村證券(株) 22、全日本空輸(株) 22、双日(株) 20

*数字は2024年度就職者数(文系学部)

理系学生の主な就職先

(株)野村総合研究所 22、アクセンチュア(株) 19、トヨタ自動車(株) 17、(株)日立製作所 17、日本電気(株) 15、富士通(株) 15、日本アイ・ピー・エム(株) 14、PwCコンサルティング(同) 13、(株)村田製作所 12、東日本旅客鉄道(株) 12、日産自動車(株) 11、鹿島建設(株) 11、富士フイルム(株) 10、東京瓦斯(株) 10、EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株) 10、ソニー(株) 10、三菱電機(株) 9、(株)NTTデータ 9、(株)NTTデータグループ 9、(株)日建設計 9、(株)NTTドコモ 8、清水建設(株) 8、みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) 8、本田技研工業(株) 8、三菱重工業(株) 8、(株)三井住友銀行 7、全日本空輸(株) 7、日本製鉄(株) 7、アマゾンウェブサービスジャパン(同) 7、(株)竹中工務店 7、JFEスチール(株) 6、国家公務員総合職 6、ルネサス エレクトロニクス(株) 6、大成建設(株) 6、(株)キーエンス 6、(株)IHI 6、ソフトバンク(株) 6、(株)三菱地所設計 6、(株)三菱総合研究所 5、SCSK(株) 5、東京エレクトロン(株) 5、デロイトトーマツサイバー(同) 5、日鉄ソリューションズ(株) 5

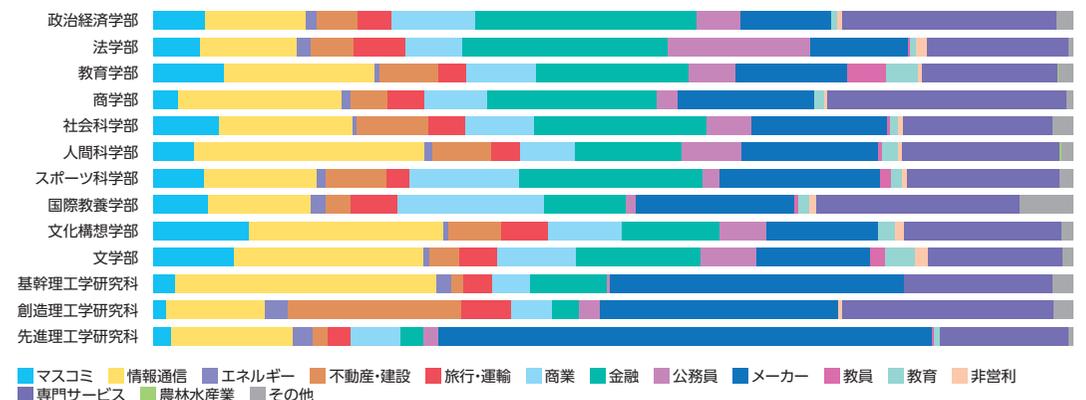
*数字は2024年度就職者数(理工3研究科)

公務員の主な就職先

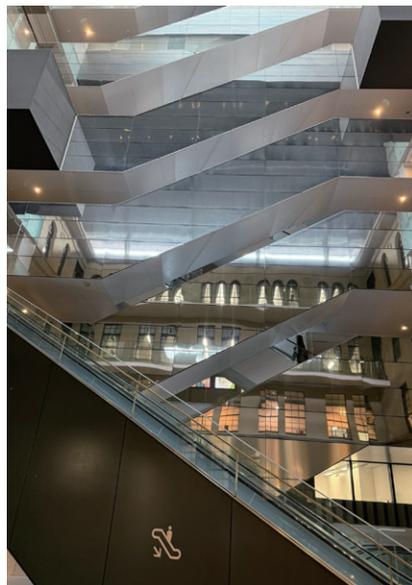
東京都職員1類 70、国家公務員一般職 52、国家公務員総合職 44、国税専門官 16、裁判所事務官 15、特別区(東京23区)職員 13、埼玉県職員 10、自衛隊幹部候補生 7、東京都職員1類 7、特別区(東京23区)採用職員(その他) 6、国土交通省 4、警視庁 4、最高裁判所 3、神奈川県職員1種 3、東京都採用職員(その他) 3

*数字は2024年度就職者数

就職先における学部別の業種割合



*基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部の7割は同名研究科へ進学するため、卒業生の進路先として3研究科のものを表示



3号館／早稲田キャンパス



大隈記念講堂／早稲田キャンパス



6号館／早稲田キャンパス



早稲田アリーナへ続く大階段／戸山キャンパス



大隈庭園／早稲田キャンパス



51号館／西早稲田キャンパス



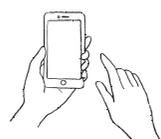
坪内博士記念演劇博物館／早稲田キャンパス



学生会館／戸山キャンパス

Seasons of WASEDA

各キャンパスの日常、四季折々の光景を、写真でお届けします。



キャンパスの写真を SNSで発信しています

Instagram
早稲田大学公式アカウント
@waseda_university

早稲田大学が運営するInstagramアカウントでは、キャンパスの日常風景を発信しています。ぜひフォローしてください。



早稲田大学では、学位課程以外にも目的やライフスタイルに合わせた教育プログラムを提供中です。歴史や文化、芸術、科学などさまざまなジャンルの公開講座を、対面形式のほかオンラインでのライブやオンデマンドで開講しています。今回は早稲田大学エクステンションセンターが開講するオープンカレッジにて展開している、「近代ヨーロッパの歴史」の一部をご紹介します。

イラスト=なかむら葉子

近代ヨーロッパ、

現代社会に大きな影響を及ぼした、近代ヨーロッパの巨大文明。
その始まりは、決して豊かではない環境だったのです。



西方の辺境の地が、 世界をリードするまで

産業革命や市民革命によって始まった近代ヨーロッパの歴史。高度な科学と技術を生み出し、グローバルな資本主義体制を作り上げた一方で、植民地支配を拡大し、世界中に大きな影響を及ぼしました。私たちが生きる現代社会も、近代ヨーロッパを礎にしていると考えられます。中でも巨大な文明を誕生させ、それを牽引してきたのは、ヨーロッパの西方の国々です。しかし西欧は、地理的にも社会的にも、決して文明が発達する条件に恵まれた地域ではありませんでした。そんな西欧から、なぜ近代的な文明が生まれたのでしょうか。

西欧の時代区分でいう近代は、産業革命の起こった18世紀後半から第一次世界大戦勃発の1914年までと定義できます。それより前の時代が古代、中世、近世ですが、古代からユーラシア大陸の西域をリードしてきたのが地中海世界。とりわけ繁栄したのは、地中海の東側の地域でした。つまり古代から中世の世界史では、西欧は“片田舎”。イギリスやドイツなどは、辺境の地だったので。さらに気候は寒冷で、農作物にもあまり恵まれません。国土の多く

誕生の背景

を森林が覆い、都市化を邪魔します。長らく統一的権力がなく、内部抗争を繰り返し、外敵の脅威にもさらされてきました。しかしこの無数に重なる問題を解決しようと、試行錯誤を繰り返した歴史が、西欧の発展へとつながっていくのです。

資源がない、人手が足りない。 打開策としての産業革命

では、近代ヨーロッパの発端である産業革命は、どうして片田舎のイギリスで起きたのでしょうか。いくつか要因が考えられますが、その一つが農業生産力の向上と合理化です。従来の農法を刷新し、限りある農地を最大限有効利用することに成功しました。他方で、それまで豊かな農業生産を誇った東欧地域は、政治の混乱に伴って力を落とします。食糧生産の増大は、イギリスの都市人口の増大を支えることになります。

また、大航海時代を経て多くの植民地を抱えたことも、発展の要因です。実のところ、西欧諸国よりも先

に中国が大規模な航海に成功しています。しかし中国の船団が、はるばる辿り着いたアフリカから持ち帰ったのは、食物や織物などの生活必需品ではなく、世にも珍しい姿をした動物、キリンでした。広大な土地と豊かな資源を持つ中国は、必要なものを多くを自国で賄っていたのでしょう。対して西欧の国々は、資源が乏しいがゆえに、生きるための航海を続けていきます。

そして近年注目されている要因が、当時のイギリスが世界で最も賃金の高い国だったこと。人口増加が進まず、戦争や内乱、疫病などにより働き手が不足したことで、人件費が高騰していました。少ない人数で効率よく生産性を上げなければならない状況は、技術改良の原動力になります。これが産業革命の原点ではないか、という見方です。資源が貧しく、情勢も安定しない国だったからこそ、努力と知恵を結集した。それが近代化の推進につながったのだと言えます。



早稲田大学 文学学術院教授
小原 淳

1975年北海道生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、同大学大学院修了。博士(文学)。専門はドイツ近現代史、日独交流史。著書に『フォルクと帝国創設』(彩流社)、訳書に『ビスマルク』(白水社)、『マルクス』(白水社)、『夢遊病者たち』(みすず書房)、『力の追求』(白水社)、『敗北者たち』(みすず書房)、『史上最大の革命』(みすず書房)、『時間と権力』(みすず書房)、『鋼の王国 プロイセン』(みすず書房)など。

オンライン講座も好評
どなたでも受講できる
「早稲田大学オープンカレッジ」

早稲田大学オープンカレッジでは、年間約1,500の対面講座のほか、オンライン(ライブ・オンデマンド)講座も年間約500クラス開設しています。また、オンラインでの受講が初めての方のために、無料で体験いただける講座もご用意しております。ライブの講座では終了後に収録動画を受講生向けに配信するため、遠方にお住まいの方もお仕事でお忙しい方も受講が可能です。ぜひ、ホームページでお好みの講座をお探しください。



早稲田大学 コンティニューイング・ エデュケーション推進室

早稲田大学のコンティニューイング・エデュケーション推進室では、リカレント教育、生涯教育の分野での取り組み拡大を目指し、人生100年時代の大学[Life Redesign College]など、多くの社会人が継続的に学ぶことができる多彩な環境をご用意しています。詳細は右記QRコードからご覧ください。



<https://www.waseda.jp/inst/oce/>



山中伸弥教授が語る「科学と文学」— 早稲田大学で特別講演



1 講演をする山中伸弥教授
2 満席となった会場の大隈記念講堂大講堂は、熱心に聞き入る来場者の静かな熱気に包まれました
3 左から麻生享志国際文学館館長、山中教授、田中愛治総長

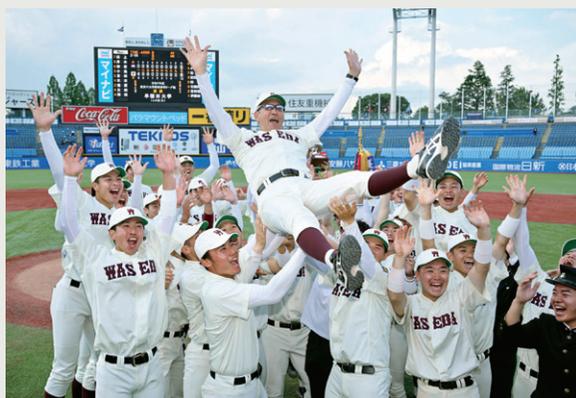
早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)は6月10日、京都大学iPS細胞研究所名誉所長・教授の山中伸弥氏を招き、「科学と文学—生命科学の最前線から考える」と題した講演会を開催しました。会場となった大隈記念講堂大講堂には、一般の参加者や在学生に加え、本庄高等学院の生徒約300人が集まりました。

2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞し、国際的に活躍するiPS細胞研究の第一人者である山中教授は、フル・マラソンを走るランナーとしても知られています。講演では、小学生時代に夢中になったSF小説をはじめ、地球や宇宙に関する科学の本、困難な時期の支えとなった先達の研究者の著作、研究への意欲を高めたビジネス書など、人生の節目ごとに出会った多彩な「本」を手がかりに、研究者としてのこれまでの歩みが語られました。

話題はやがて、研究資金を集めるために始めたマラソンへと移ります。走ることと創作活動について綴った村上春樹氏のエッセイ集『走ることについて語るときに僕の語ること』との出会いをきっかけに、走ることが山中教授にとって人生の一部となり、後に村上氏との交流にもつながったといいます。

科学者の思考と創造性が文学と出会うとき、そこには分野を越えて響き合う、新たな知の地平が広がります。本講演は、その融合の妙を実感できる貴重な時間となりました。

野球部、執念の逆転劇でリーグ3連覇達成— 東京六大学野球



写真提供:共同通信社

早稲田大学野球部は6月4日、東京六大学野球春季リーグ戦の優勝決定戦で明治大学に6-5で逆転勝利し、昨春・昨秋に続く3連覇を達成。通算49回目の優勝で、リーグ最多記録を更新しました。試合は初回に4点を先制するも、一時逆転される苦しい展開でしたが、エース・伊藤樹選手(スポーツ科学部4年)がその後粘り強く投げ抜き、5回には4番・寺尾拳聖選手(人間科学部3年)の適時打で再逆転。伊藤選手は、ノーヒットノーランを達成した5月19日の明大戦2回戦を含む怒涛の5連投。優勝決定戦でも完投し、勝利を呼び込みました。5月18日に敗戦して以降、一戦も落とせない状況で4連勝し、迎えた決定戦。小宮山悟監督は「負けられない状況でチームが一つになった」と選手たちを称賛しました。

保護者等の皆さまへ大学の近況、「早大生の今」をご紹介します

地域交流フォーラムを13会場(8月以降は9会場)で開催

主に1都3県(東京・埼玉・千葉・神奈川)以外にお住まいの保護者等の皆さまを対象とした地域交流フォーラムを開催しております。大学の取り組み(学びや就学、キャリア関連)のご紹介や早大生によるトークセッション、大学職員との個別相談や来場者同士の懇談も実施しております。お申し込み方法や詳細につきましてはウェブサイト(下記QRコード)よりご確認ください。



動画コンテンツで大学の取り組みをご紹介します

地域交流フォーラムにてご紹介している大学の取り組みなどを動画コンテンツにまとめています。保護者等の皆さまより多く寄せられるご質問をまとめたFAQもございます。右記QRコードよりご覧ください。



早稲田大学教育支援募金のお願い



本学では「研究の早稲田」「教育の早稲田」「貢献の早稲田」を基本理念に据え、全ての学生がグローバルな視野をもち、国際社会に貢献できる人材になることを目指しています。学生の教育・研究環境の充実のために、皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

インターネットでのご支援をお考えの方は、右記QRコードよりお手続きいただけます。



お振込みでのご支援をお考えの方は、総長室社会連携課までご連絡ください。お振込用紙を送らせていただきます。

総長室社会連携課 (TEL) 03-3204-0125 (E-mail) kifu-m@list.waseda.jp

最新のニュースは、早稲田大学オフィシャルウェブサイト!



本ページで紹介したニュースは、早稲田大学オフィシャルウェブサイトでご覧いただけます。



CAMPUS NOWはウェブサイトでもご覧いただけます。

読者ウェブアンケート

皆さまのご意見を反映し、よりよい誌面にしていくためにアンケートにご協力ください。申請フォームはこちらのQRコードよりお願いします。



表紙写真

早稲田キャンパス
Uni.Shop & Café 125



2002年オープンの早稲田大学オフィシャルグッズショップ&カフェ。大隈記念講堂そばに建ち、外観はガラス張り、周囲にはオープンデッキを配したつくりです。木漏れ日あふれる空間は、買い物に訪れる卒業生や観光客、午後のひとときを過ごす学生らで毎日にごわみます。



NOW ON CAMPUS!



7月号の
気になる撮影スポット



織田幹雄記念陸上競技場

@所沢キャンパス

織田幹雄記念陸上競技場は、日本陸上競技連盟第4種公認を有する全天候型の9コース・400mトラックで、本学競走部のホームグラウンドでもあります。本競技場の名称は、1928年にアムステルダム五輪において三段跳びで優勝し、日本人初の金メダリストとなり、本学のスポーツ功労者第一号でもある故織田幹雄氏の生誕100年を記念して2005年に命名され、次世代のアスリート育成の場として重要な役割を果たしています。

WASEDA VISION 150

大隈重信が宣言した早稲田大学教旨を受け継ぎ、
本学は、創立150周年を迎える2032年の本学のあるべき姿を思い描き、
2012年に中長期計画“WASEDA VISION 150”を策定しました。

2018年以降、これをさらに進化させるべく新たなスローガンとして
「世界で輝くWASEDA」を掲げ、施策の検証と改善を繰り返しながら、不断の改革を実行しています。

詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.waseda.jp/inst/vision150/>



WASEDA University
早稲田大学